

取扱説明書

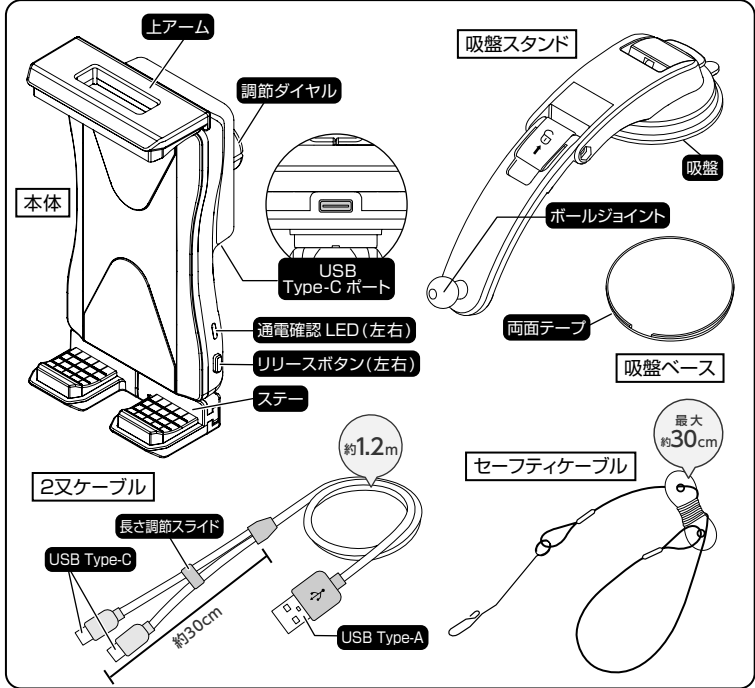
WA83 オートスマホタブホルダー 吸盤

この度は弊社製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。
ご使用前に本書(取扱説明書)をよく読み、製品を安全にお使いください。
※この取扱説明書については、予告なしに変更することがあります。
※製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。

はじめに

- 本製品をご使用いただく際は、走行前に予め本体がしっかりと車に取り付けていられるかをご確認の上、お使い願います。
- 以下の警告・注意をお読みの上、正しくご使用ください。警告・注意に従わない場合など、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、接続する充電機器も含めて当社では一切その責任、保証は負いかねます。

セット内容 本製品の構成と名称、部品のはたらき



無料修理規定

- 取扱説明書に従った正常なる使用状態で保証期間内に故障した場合には、お買い求めの販売店、または弊社にて無料で交換または修理いたします。
 - ①お買い求め後の輸送、移動時の取扱いが不適切なために生じた故障・損傷
 - ②誤用・乱用および取扱い不注意による故障・損傷
 - ③不当な修理または改造による故障・損傷
 - ④火災、地震、水害その他の天災地変および異常電圧・指定外の電源使用による故障・損傷
 - ⑤保証書のご提示がない場合(レシート添付の場合は除く)、あるいは字句を書き換えられた場合
 - ⑥「日本国内にて販売されている、日本国内の携帯電話事業者用携帯電話及びタブレット」以外の携帯電話及びタブレットを使用した場合の故障・損傷
 - ⑦取扱説明書に記載されている使用条件以外で使用した場合の、故障・損傷
- 保証期間はご購入日から6ヶ月とします。
- 本製品の保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本製品の保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 本製品の保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

1 安全上の注意

- 警告** この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
- 注意** この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

右の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

- 禁止 (してはいけないこと) 禁止を示します。
- 強制指示 (必ず実行していただくこと) 指示を示します。

警告

- 本製品の取り付けには十分注意してください。
取り付け、ご使用が困難な時、または、運転操作、視界の妨げ、エアバッグ付近、エアバッグ作動の妨げになる場合は無理に取り付けたりしないでください。事故や故障、破損の原因になります。
- フロントガラスには取り付けしないでください。
法令に違反します。
- USBケーブルのプラグ部をアクセサリソケットの中に入れてください。
感電や発火のおそれがあります。
- 火の中に投下したり、高温(70℃以上)の環境下に保管、放置しないでください。
車のダッシュボード上やグローブボックス内は直射日光の下では70℃以上の高温となりますので、ダッシュボード上及びグローブボックス内への保管等はやめてください。万が一高温になった場合や発煙、ショートがあった場合には、ただちにご使用を中止してください。
- 濡らさないでください。また、濡れた手でさわらないでください。
本製品は非防水です。濡らしたり、雨、雪、霧などの状況下に屋外で使用しないでください。水などが内部に入ると、火災、発熱、感電、故障、けがなどの原因となります。
- 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、強いショックを与えないでください。
破裂、発火、発熱させる原因となります。
- 分解、改造、後加工をしないでください。
火災、感電、故障、けがなどの原因となります。これらが起因するでデバイスのトラブルに関して、当社は責任を負いかねます。また、コードを分解・切断しての直接配線などは絶対にやめてください。
- 走行中の運転者による本体の操作は絶対にやめてください。
運転者によるデバイスの操作は事故などの原因となります。また、本製品の操作、取扱いも運転操作の妨げになりますのでやめてください。接続操作などは、車を安全な場所に駐車しておこなってください。
- コードを傷つかけたり、きつく結んだり、乱暴に扱わないでください。
感電、発火、発熱、故障、断線、けがの原因となります。
- ガラス面以外の取り付けは、付属の「吸盤ベース」を必ず使用してください。
デバイス及び、本製品の破損や脱落の原因となります。

注意

- ご使用前に、必ずデバイスのメモリの控えを取ってください。
本製品の使用によるデバイス内部及び接続されたメモリのデータ破損や消失に関する責任は負いかねます。
- 極端な低温(-20℃以下)での保管、放置はやめてください。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。
- 本製品に物をかけたりしないでください。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。
- クリーニングするときに研磨剤入りの溶剤は使用しないでください。
本製品に傷がつくおそれがあります。汚れた際は乾いた布で拭いてください。
- 破損した時には、車のヒューズボックスにあるすべてのヒューズに破損がないかを確認してください。
車の機能(ヘッドライト、空冷ファンなど)に支障がないことを確認してください。
- ホルダーの調節後はしっかりとダイヤルを締め付けてください。
加減速時などに本製品が倒れたりして、デバイスや車の内装、本製品の破損の原因となります。
- 本体のLED光源を直視しないでください。
目の健康をそこねるおそれがあります。
- エンジンをかけた状態で使用してください。
車のバッテリー保護や本体ならびに接続機器内部の電子回路に影響を及ぼす可能性があるため、必ずエンジンをかけた状態で使用してください。
- 悪路を走行する場合は携帯電話を置かないでください。
デバイスが落下するおそれがあります。
- 予備電源でデバイスをホールドしないでください。
予備電源の残量が少ない時、把持力が弱くなりデバイスが落下するおそれがあります。

取り付けに関するご注意

- 必ず車を安全な場所に停車してから、本製品の取り付けを行ってください。
- 吸盤は何度も取り付け・取り外しが可能ですが、「吸盤ベース」は貼り直しができません。
- 本製品「吸盤ベース」の取り付け面は、曲面でない直径約9cmの貼り付け面が必要です。
- あらかじめ「吸盤ベース」取り付け場所の光沢材、汚れ、ゴミ等を中性洗剤等を用いてよく拭き取ってください。※吸盤ベースの貼り直しは、脱落の原因となりますので絶対にやめてください。
- 10℃以下の低温時には十分な接着力が得られない場合がありますので、低温時を避けてお取り付けください。また、真夏の炎天下等取り付け場所が高温になっている場合も接着力が得られない場合があります。
- 運転操作の妨げやエアバッグ作動時に影響がないよう取り付けてください。本製品の取り付け、ご使用が困難な場合は無理に取り付けしないでください。
- 本体や吸盤で角度を調節し、設置場所の予備検討を予め行ってください。
- 必ずセーフティケーブルをご使用ください。

2 困ったときは…(トラブルシューティング)

- 故障かな?と思ったらときは、お問い合わせいただく前に、本取扱説明書をもう一度お読みになり、操作に誤りがないかお確かめください。また、次の項目をご確認ください。

症状や疑問点	確認していただくこと
本体LEDランプが青色に点灯しない	USB Type-AプラグやUSB Type-Cプラグがしっかり接続されているか確認してください。 アクセサリソケットや各接続ポートに電気が来ているか確認してください。 ケーブルが破損していないか、通電しているか確認してください。
デバイスを載せてもアームが動かない	ケーブルの挿し込みが緩くないか確認してください。 デバイスの取り付け位置がずれていないか確認してください。 ご使用した環境の温度が高すぎる、または低すぎるか確認してください。 リリースボタンをタッチしてアームが開いているか確認してください。
リリースボタンを指してもアームが開かない	通電しているか確認してください。 ※USBケーブルを介して本体に電力が供給されていないときはアームは開閉動作しません。

3 本製品取り付け・取り外し方法

開封と内容物の確認

■開封後、表面の「セット内容」を参考に内容物の確認をお願いします。

取り付け位置について

下記及び本製品のパッケージ記載の取扱説明に従わない場合など、誤ったご使用での事故、故障、破損などにつきましては、当社では一切その責任は負いかねます。

国土交通省の定める「道路運送車両の保安基準」の改正(平成17年1月1日)に伴い、下記の範囲内の前方視界を確保することが義務付けられています。本製品(および携帯電話)を取り付ける際は、下図を参考に、運転者の前方視界を妨げないように取り付けてください。

前方視界基準(抜粋) ※2019年12月調べ

1.対象車種

- 専ら乗用の用に供する自動車(乗車定員11人以上のものを除く。)
- 車両総重量が3.5トン以下の貨物自動車(いずれも使用過程車を含む。)

2.適用時期:平成17年1月1日より

3.基準概要

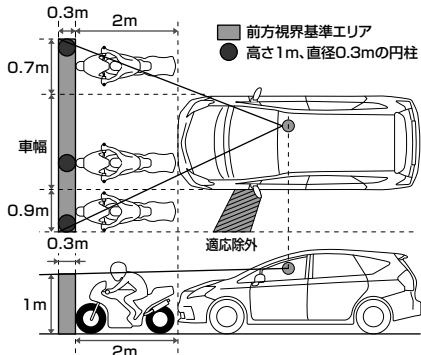
(1)要件

- 自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱(6歳児を模したものを鏡等を用いず直接視認できること。)

(2)適用除外

- Aピラー(窓枠のうち車両最前にあるもの)ファイバー及びステアリングホイールにより死角となる部分。

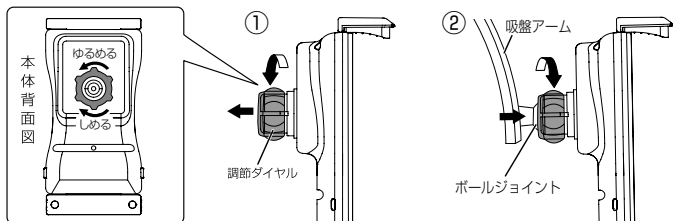
※いずれの基準も左ハンドルの場合には左右逆となります。



「本体」と「吸盤スタンド」の組み立て

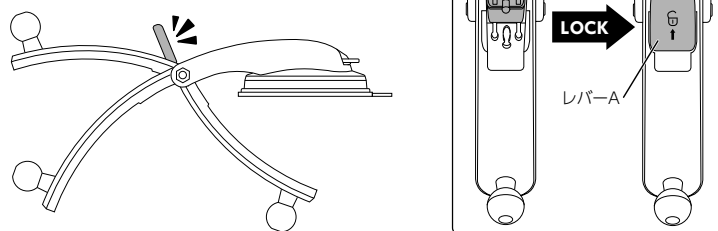
■下図を参考に「ホルダー本体」と「吸盤スタンド」を組み立ててください。

- ①本体背面の調節ダイヤルを回してゆるめてください。
- ②吸盤アームのボールジョイント部分を穴に合わせてカチッと音が鳴るまで奥へはめてください。はめたまま、調節ダイヤルが止まるまで回して締めてください。



回転アーム調節方法

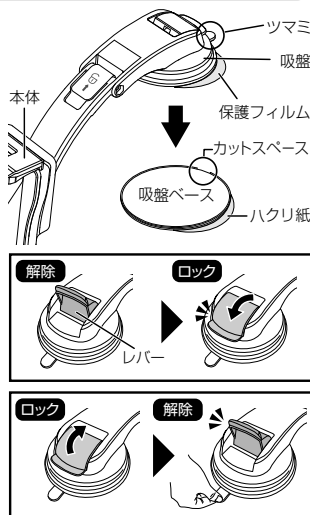
レバーAを押し下げて好きな角度でアームをロックできます。



取り付け・取り外し方法

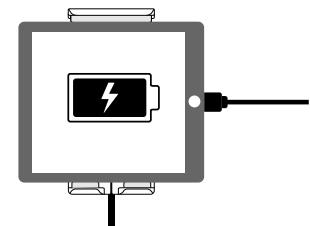
■吸盤を吸盤ベースに固定します。

- ①吸盤ベース裏面の粘着テープのハクリ紙をはがしてしっかりと貼り付けてください。
※貼り付け後は十分な接着力を得るために24時間放置してから本体の取り付けを行ってください。
- ②吸盤裏側の保護フィルムを剥がしてください。
- ③貼り付けた吸盤ベースの上に吸盤をツマミとカットスペースを合わせて吸着させてください。
※吸盤ベースの貼り付け直後に吸盤を吸着させないでください。吸盤ベースが剥がれるおそれがあります。
- ④片手で吸盤をしっかり押さえて、ダッシュボード面に対して下に押し付けながら、もう片方の指でレバーを押し下げて、ロックしてください。
- ⑤本体を軽く前後・左右に力を加えてしっかりと固定されているかをご確認ください。
- ⑥取り外す際は吸盤スタンドのレバーを上持ち上げてロックを解除してください。吸盤と貼り付け場所が吸着していますので、吸盤のツマミ部分を手で持ちながら取り外してください。
※レバーは勢いよく跳ね上がりますのでご注意ください。
- ⑦セーフティケーブルのたるみをなくして終了。

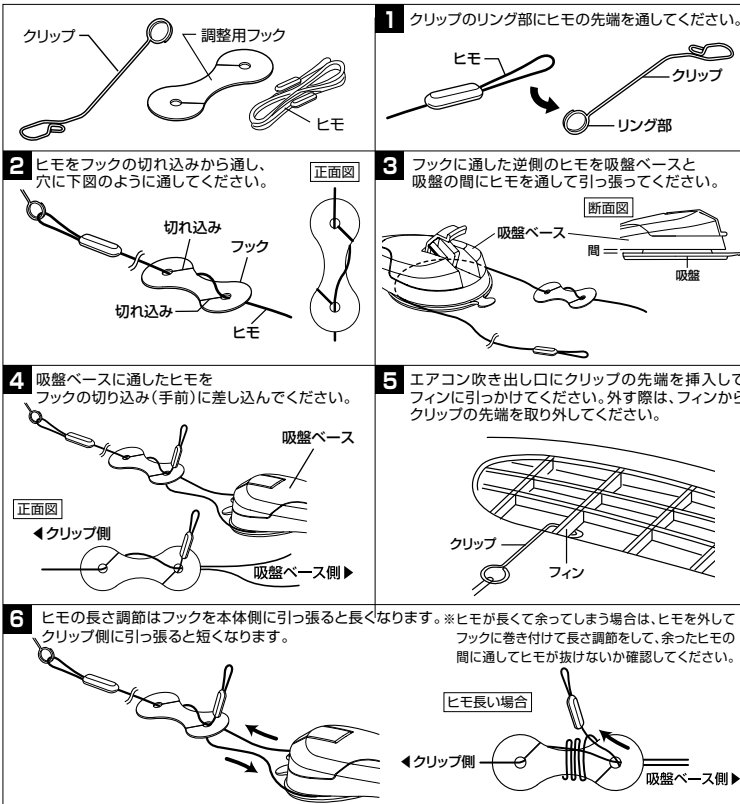


2又ケーブル

- 本体に給電させながらデバイスを充電可能です。
- ※デバイスへの充電スピードはUSBプラグの最大出力により変動があります。
- ※充電専用のUSBケーブルになります。データ通信での使用にはなりません。

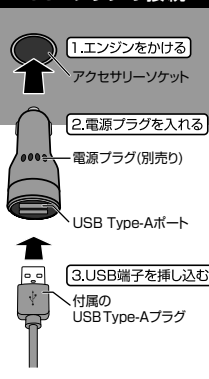


セーフティケーブルの取り付け方法



ホルダー本体と付属のUSBケーブルを接続する

USBプラグの接続

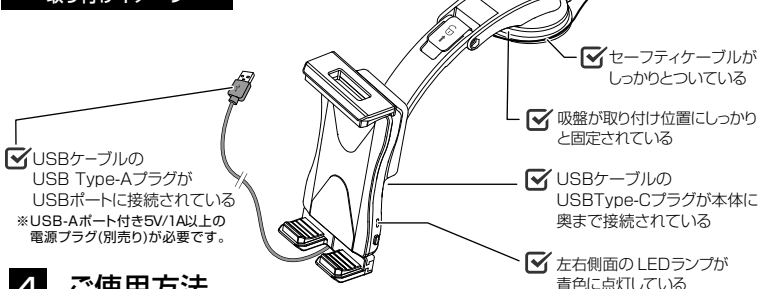


- 最初にエンジンOFFの状態で、車のUSBポート内のゴミ、ホコリ等をよく取り除いてください。
※汚れたままUSBプラグを挿し込むと接触不良の原因になります。
- 本体および接続機器内部の電子回路に影響を及ぼす可能性があるため、車のエンジンをかけてからUSBプラグを挿し込んでください。
※USBプラグの根元を持ちUSBポートに対し水平にゆっくり抜き挿ししてください。

USB Type-Cプラグの接続

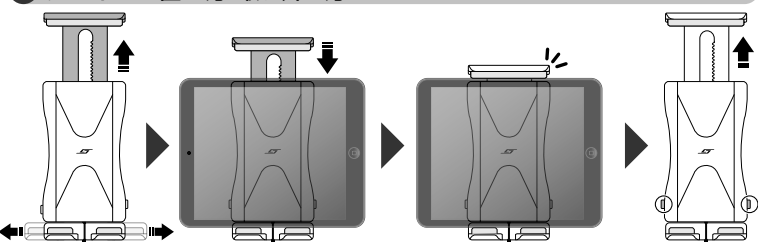
- ホルダー本体のUSB Type-Cポートに、付属のケーブルのUSB Type-Cプラグを接続してください。
- 通電時は左右のLEDランプが常時青色に点灯します。
※付属のUSBケーブル以外での動作保証はいたしません。

取り付けイメージ



4 ご使用方法

デバイスの置き方・取り外し方



- ①通電後、上アームが自動で開きます。デバイスのサイズに合わせて、ステーの距離を手動で調整してください。(デバイスが本体に載っている状態では上アームは開きません)
- ②デバイスを本体に載せると、重力センサーが反応して上のアームが自動で閉じます。
- ③デバイスを取り外す際は、両サイドにあるリリースボタンのどちらかを指で押しすと上アームが開きます。もう一度押しすと上アームが閉じます。
※エンジンを切ってから約30分以内は、内蔵電源によって上アームが2回開閉できます。(2分以上電源接続した場合) ※上アームが開いた状態で2分以上デバイスが置かれていないと上アームが自動で閉じます。

本製品に関するお問い合わせは (トラブルシューティングで解決できないとき)

本製品に関するお問い合わせは…

☎ 0570 (039) 710

受付時間/AM10:00~PM5:30月曜日~金曜日(祝日休業)
〒273-0016 千葉県船橋市潮見町6-1